

第 49 回北陸実業団陸上競技選手権大会

兼 第 67 回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会予選・連盟海外派遣選考競技会 要項

主 催 北陸実業団陸上競技連盟
共 催 北陸陸上競技協会
後 援 魚津市、魚津市教育委員会
主 管 一般財団法人富山陸上競技協会
協 賛 YKK株式会社

1. 期 日 2019年 5月11日(土) 5月12日(日)
2. 会 場 魚津桃山運動公園陸上競技場
(〒937-0821 富山県魚津市出字桃山 36 TEL: 0765-22-0077 *北陸自動車道 魚津 IC 下車 15 分)
3. 種 目 5/11(土) 男子 100m 400m 1500m 10000m 110mH 3000mSC 4×100mR(オープン) J1500m(オープン)
棒高跳 三段跳 円盤投 ハンマー投
女子 100m 400m 1500m 10000m 100mH 3000mSC 4×100mR(オープン)
棒高跳 三段跳 円盤投 ハンマー投
5/12(日) 男子 200m 800m 5000m 400mH 5000mW 4×400mR(オープン) J5000m(オープン)
走高跳 走幅跳 砲丸投 やり投
女子 200m 800m 5000m 400mH 5000mW J3000m(オープン)
走高跳 走幅跳 砲丸投 やり投
※J(ジュニア)は 1999 年 4 月 2 日以降に生まれた者。
※男女とも 1500m 以上はタイムレースとする。
4. 参加資格 (1)日本実業団陸上競技連合(北陸実業団陸上競技連盟)の登録者で、会社、工場、官公庁、公社、商店等に 2019 年 4 月 1 日以降勤務する者。
(2)外国人競技者は、備考欄に示す「外国人競技者」に基づき参加資格を得た者とする。
(3)北陸実業団陸上競技連盟以外の地域実業団連盟所属の登録者は、オープン参加とする。
(4)学生(大学生)。但しオープン参加とする。
5. 参加制限 (1)1 人の参加種目数に制限はない。但し、一般種目とジュニア種目の同一種目に出場することは認めない。
(2)リレーは 6 名連記以内とする。
(3)男女 4×100mR・男子 4×400mR のチーム編成については、加盟登録団体単位の制限はない。
(複数団体による合同チーム編成を認める)
6. 参加料 1 種目 1 名 2,000 円、リレーは 1 種目 1 チーム 3,000 円とする。
(申込と同時に銀行振込または現金書留にて納入すること。銀行振込は加盟登録料振込口座と同じ口座とする。)
7. 表彰 (1)各種目の第 1 位には賞状と副賞、第 2 位と第 3 位には賞状をそれぞれ授与する。
(2)オープン種目の第 1 位から第 3 位まで賞状を授与する。
8. 申込方法 (1)*WEB登録となりますのでご注意ください。
【重要】大会申込は、2019 年度の実業団登録(登録料振込の完了)が必須です。
(2)★申込先⇒ <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/94>
(※北陸実業団連盟ホームページ内にも申込 URL を貼り付けてあります)
(3)参加料納入先(銀行振込) ※振込み名義はチーム名とすること
【振込先】北陸銀行 YKK 支店 普通 6027258
北陸実業団陸上競技連盟事務局 事務局長 鶴園 満
(4)申込締切日は **2019年4月18日(木)**とする。

(5) 申込時の記録は、2018年1月1日～2019年4月14日迄の間の競技会で記録した公認記録を記載すること。

9. その他
- (1) ナンバーカード(胸・背・腰)は、主催者で準備する。
 - (2) ウェア、ユニフォームのマークは、日本陸上競技連盟規格のものを着用すること。
 - (3) 競技用器具(やり)について、競技場備付け以外の器具を希望する者は検定のうえ使用できる。
 - (4) 種目により男女混合やタイムレースで競技を実施する場合がある。
 - (5) 本大会で上位記録者のうち若干名を、海外遠征および実業団・学生対抗陸上競技大会(2019年7月27日(土)平塚市)へ選抜する。

【第67回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会(2019年9月20日(金)～9月22日(日)大阪府大阪市)への出場資格について】

- (1) 第65回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会の優勝者。但し、その種目に限る。(参加費無料)
- (2) 本予選会に出場した競技者で、以下の①②のいずれかに該当する競技者。(但し、リレーを除く)
 - ① 2018年1月1日～2019年8月16日(金)までの間に参加標準記録A(別表記載)に到達した競技者。
 - ② 本予選会で3位以内に入賞した競技者で、参加標準記録B(別表記載)を満した競技者
- (3) 特別の事由(身体の故障等)により本予選会に出場できなかった競技者が、全日本実業団対抗陸上競技選手権大会に参加を希望する場合は、「理由書」、および有効期間内に別表に定める記録に到達した「記録証明書」を添えて、本連盟に申請し審査を受けること。本連盟が審査の結果を連合に提出し、承認を得られた場合は参加を認める。

【外国人競技者について】

- (1) 外国人競技者は、労働契約を締結した日以降、日本国内に滞在した日数が、次に示す日数以上あり、かつ、地域連盟に登録申請した日から6ヶ月経過していること。
 - a. 労働契約を締結した日以降、初年度は、年度初め以降に述べ累計180日以上。
 - b. 前号の外国人競技者が移籍して新たな労働契約を結結した場合、移籍後の初年度に於いては再び180日以上、次の年度から120日以上。
- (2) 但し、前年度に前項に規程する日数以上の日本国内での滞在实际がある外国人競技者は、本大会に出場することができる。また学校教育法第1条に定める学校を卒業し引き続き採用された外国人競技者についても、その採用初年度から出場することができる。
- (3) 外国人競技者は1チーム2名以内とする。
- (4) 日本で出生し、永住権を保有している外国人競技者は、日本人選手と同様とする。